

義務教育学校（施設一体型小中一貫校）

豊中市立庄内さくら学園

令和5年（2023年）4月開校



義務教育学校「庄内さくら学園」の教育

教育目標

自ら考え、行動し、
仲間とともに豊かな社会をつくる子どもを育てる



1 1年から9年の子どもたちの育ちと学びをつなぐ

施設一体型小中一貫教育の強みをいかし、子どもたちの9年間の育ちや学びをていねいにつなぎ、子ども一人ひとりの課題に応じた指導を行います。

2 4-3-2の3ステージ制で3つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を段階的に育む

子どもの発達段階にあわせて、学年段階を4-3-2の3段階に区切り、指導区分ごとに「つきたい力」や具体的な目標などを設定し、きめ細やかな指導を行います。

3 さくら独自カリキュラムで対話力・表現力を高める

子どもたちに未来を切り拓く力を育むために、地域・関係機関と連携した独自カリキュラムを設定し、対話力・表現力を高めます。

4 地域とつながるさくらコミュニティ・スクール

地域・保護者の方々に、「子どもたちの応援団」として参画していただくコミュニティ・スクールを組織し、地域とともにある学校の取り組みをすすめます。

指導区分	第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ	
学習指導	学級担任を中心としたきめ細かな指導				教科担任制の導入			進路を見据えた学習指導の充実	
生徒指導	義務教育9年間を見通した系統的で一貫性のある学習指導・生徒指導								
	良い習慣の形成・確立				自立した生活			主体的な生活・生徒自治	
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程	小学校の学習指導要領を準用【前期課程】						中学校の学習指導要領を準用【後期課程】		

1年から9年の子どもたちの育ちと学びをつなぐ

施設一体型小中一貫教育の強みをいかし、子どもたちの9年間の育ちや学びをていねいにつなぎ、子ども一人ひとりの課題に応じた指導を行います。

義務教育9年間で、子どもたちにつけたい力や教育方針を全教職員が共有し、9年間を見通した系統的で一貫性のある学習指導・生徒指導を行います。

めざす子ども像

- 社会のルールや規律を大切にし、誰もが安心できるつながりを大切にする子ども
- 自分の良さに気づくとともに、互いを認め合い行動できる豊かな人権感覚をもった子ども
- 自らすすんで学び、主体的に考え、判断し、自分を表現できる子ども
- 様々な人との出会いを大切にして多様な生き方を学び、自らの生き方を見つめる子ども
- 規則正しい生活習慣を身につけ、社会生活に必要な健やかな体をつくろうとする子ども
- 自らの将来に希望をもって、自らの生き方・働き方(キャリア)をつくろうとする子ども

◆ 確かな学力を育むため、主体的・対話的で深い学びを推進

9年間を通じて、「自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝える力」や問題発見・解決能力などを育む一貫性のある教育を行います。

- 国語では、発達段階に応じた言語能力・自分の意見や考えを文章で書く力を育成します。また、庄内コラボセンター内図書館との連携による読書指導の充実を図ります。
- 算数／数学では、第1ステージでつまづきやすい学習内容と、第2・第3ステージの学習内容との関連等をふまえた系統的な指導を行います。また、第2ステージ(5～7年)に少人数指導を導入予定です。
- 外国語／英語では、第2ステージ(5・6年)へ教科担任制を導入し、AET(外国人英語指導助手)との連携強化によるきめ細かな授業を行います。また、第1ステージ(3・4年)の外国語活動への教科担任制も導入予定です。

◆ 特色あるさくら独自カリキュラムの展開

9年間につけたい力を育むため、地域の資源である「音楽」「ものづくり」「スポーツ」「食」の関係機関との連携・協働により、さくら独自カリキュラムを設定し、子どもたちの「対話力・表現力」を高めます。

また、論理的思考力を育むため、1～9年までを見通して系統的にプログラミング教育に取り組みます。

◆ 1～9年生までの異学年交流

9学年の子どもたちが一緒に学校行事や集団活動に取り組むことで、多様なものの見方や考え方等に触れる機会を創出します。

◆ ICT教育の充実

タブレット端末等のICT機器を積極的に活用することにより、学びの世界を広げ、9年間を通じて情報活用能力を育みます。

4-3-2の3ステージ制で 3つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を段階的に育む

子どもの発達段階にあわせて、学年段階を4-3-2の3段階に区切り、指導区分ごとに「つきたい力」や具体的な目標などを設定し、きめ細やかな指導を行います。

第1ステージ 1~4年

学級担任を中心としたきめ細かな指導により、学校生活の学びの基礎や基本的生活習慣の確立を図り、自己肯定感を高める取り組みをすすめます。

特に、学ぶ意欲の土台となる非認知能力(①目標に向けて頑張る力 ②人とつながり行動する力 ③自分をコントロールする力等)を育みます。

1年生より、AET(外国人英語指導助手)が日常的に関わることで、コミュニケーション力を高めます。

第2ステージ 5~7年

第1ステージで身につけた「学びの基礎」を土台に、「主体的・対話的な学び」を広げるために、一部教科担任制を導入し、50分授業をすすめます。

定期テスト(期末テスト)を一部導入し、5~7年を緩やかにつなぐことで、学習習慣と学びの定着を図ります。

「自治の力とつながり」を大切にした学校づくりをすすめるため、5年生より「児童生徒会活動」に取り組むとともに、部活動にも参加できる環境をつくります。

第3ステージ 8・9年

第1・2ステージで培ってきた「学びと自治活動」をベースに、一人ひとりが自らの力や可能性を信じ、未来を切り拓いていく力を育みます。

学園の活動をリードする自覚を育むとともに、第1・2ステージ生を支える活動を通して、自己肯定感・自己有用感を高めます。

めざす子ども像実現に向けて、4-3-2のステージ制をひき、子どもたちに「3つの力」を段階的に育みます。

	つながる力 自らを深く見つめ、多様な仲間とつながる力	まなぶ力 仲間とともに、粘り強く意志をもって学び続ける力	つくる力 自らの将来を見つめ、よりよい社会をつくらうとする力
第1ステージ (1~4年生)	自分の良さに気づき、気持ちや考えを表現できる力	基礎基本の習得を通して、わかることの喜びを実感できる力	将来の暮らしを支える基本的な生活習慣をつくる力
第2ステージ (5~7年生)	・仲間とともにものごとを実現する喜びを感じる力 ・自他の違いを認め仲間を大切にできる人権意識と実践力	・自ら考え、判断し、ねらいをもって表現する力 ・対話を通して、自らの学びや生き方を深く考える力	・集団や社会の一員として責任をもって行動する力 ・仲間と協働した行事や自治活動を通して、学校づくりに主体的に参画する力
第3ステージ (8・9年生)	様々な人や生き方との出会いを通して、自らの生き方を深く見つめ直す力	仲間とともに、学ぶ喜びを実感し、協働して課題解決に向かう力	仲間とのつながりと学んだことをいかし、よりよい社会づくりについて考え、行動できる力

➡ 4-3-2のステージ制をいかす取り組み

9年間を通した学びや育ちを4-3-2の区分でサポートしていく取り組みをすすめます。

とりわけ、第2ステージの5・6・7年を系統的に緩やかにつなぎ、きめ細かな指導をすすめることで、子どもたちの成長を促します。

1 標準服は5年生より着用し、第1ステージから第2ステージにあがることへの意識の醸成を図るとともに、5・6・7年の一貫した指導のもとで、一人ひとりの自覚をもたせるとともに縦のつながりを深めます。



長ズボン・スカート・ハーフパンツを選択できます。

2 第1ステージでは、学級担任を中心に45分授業を展開し、基礎・基本の確立を図ります。第2ステージに

あがる5年生からは授業時間を50分とし、教科担任制(一部)を実施するなかで、より専門的な指導のもと系統的に学習をすすめます。また5・6年生で定期テストを一部導入し、学習習慣の確立を図るとともに、7・8・9年につないでいきます。

3 宿泊行事については、各ステージの最終学年のまとめとして位置づけ、4年・7年・9年が取り組むこととします(9年は修学旅行)。また卒業式は、9年が行うこととなるので、4年・7年についてはステージ式を実施し、ステージのまとめと次のステージにすすむ決意を固めます。

4 児童生徒会活動も5年生から取り組むこととし、「自分たちの学校は自分たちで創っていく」という「自治の力」を発揮できる体制をつくります。またあわせて部活動についても、5年生から参加できる環境をつくり、自主的・主体的な活動をサポートします。



庄内さくら学園 児童生徒会
マスコットキャラクター

「さくら独自カリキュラムで、対話力・表現力を高める」

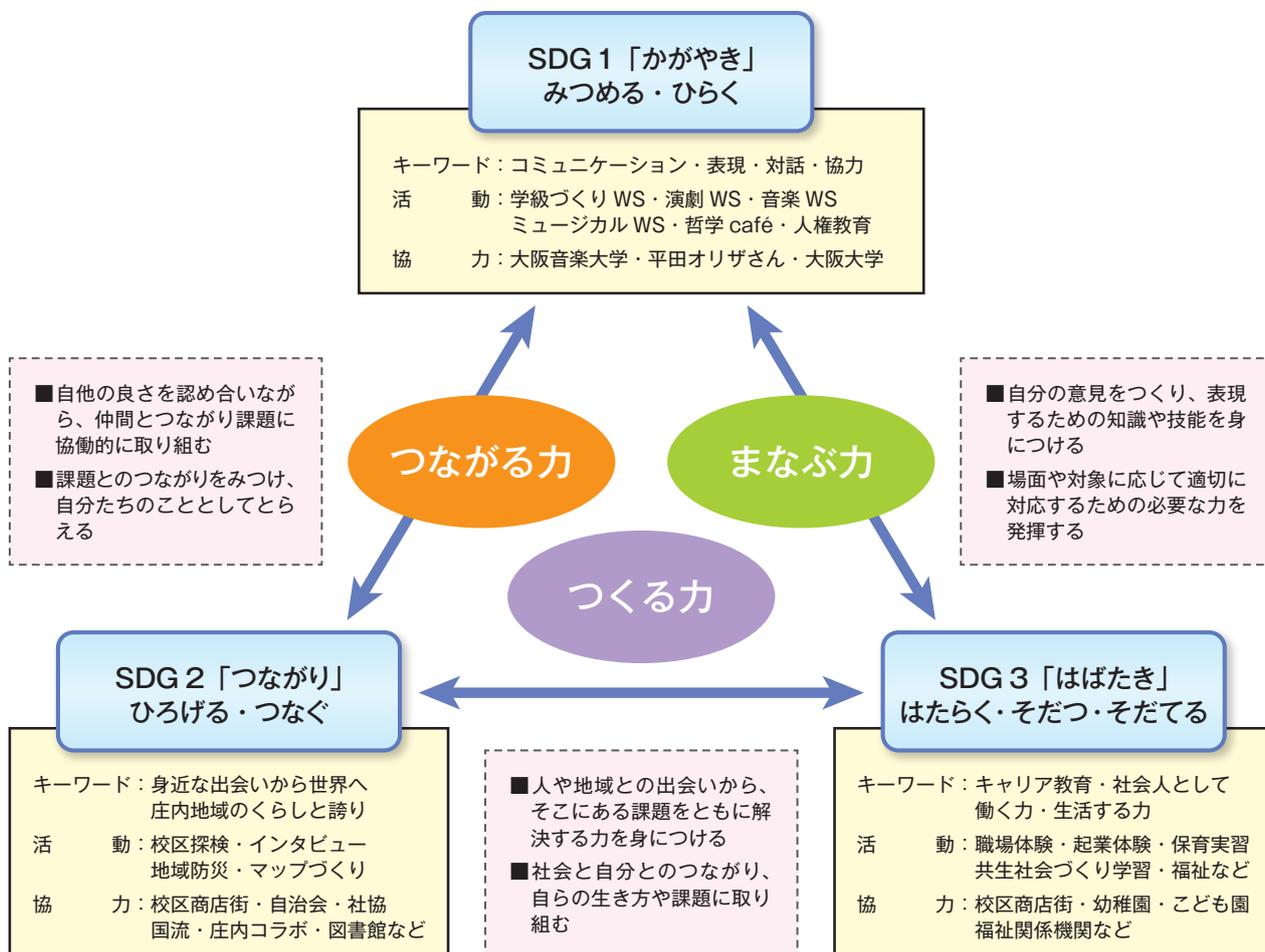
子どもたちに未来を切り拓く力を育むために、地域・関係機関と連携した「さくら独自カリキュラム」を設定し、対話力・表現力を高めます。

子どもたちにかける願い

- 社会ルールを大切にし、人への優しさを大切にする子ども
- 自他の良さに気づき、認め合い共生社会をつくろうとする人権感覚をもつ子ども
- 自ら学び、考え、表現できる子ども
- 出会いから素直に学び、自分を見つめる力のある子ども
- 将来に希望をもち、自らの生き方や働き方をつくろうとする子ども

総合的な学習と独自カリキュラム「庄内市民科 SDG プログラム」について

- 庄内さくら学園の生活科、総合的な学習の時間と連動させながら特に系統的に学ぶ独自カリキュラム「庄内市民科SDG (庄内・大好き・元気) プログラム」を組み立てます。
- プログラムの展開にあたっては、地域社会 (庄内地域) だけでなく、豊中市の様々な「強み」を最大限にいかしたものとし、学校と地域・社会が協働して子どもたちの学びを支援する視点を大切にします。



地域とつながる さくらコミュニティ・スクール

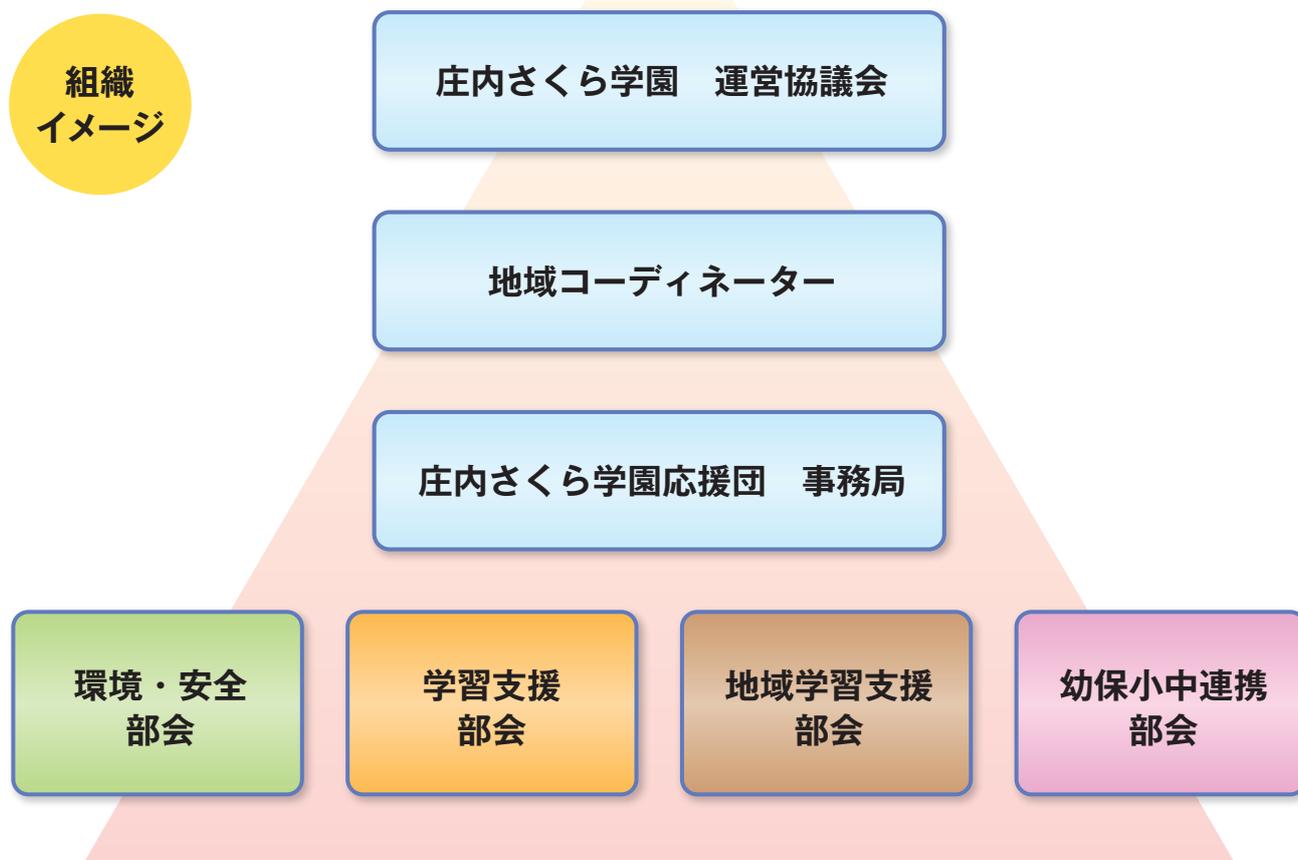
庄内さくら学園は、人との出会いとつながりのなかで子どもたちの学びや育ちを保障するために、地域の人材や資源を子どもたちのために活用できる教育活動を展開します。そのために可能な限り、教育課程を地域に開き、地域や学校外の様々な人々の力を借り、地域の教育資源を活用する教育活動の展開に努めます。

さくらコミュニティ・スクール

ねらい

- 学園は教育目標「自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子どもを育てる」の実現に向けて、地域に開かれた教育課程をめざし、地域と連携した教育内容の創造に努めます。
- 地域に開かれた学園として、庄内地区の歴史・文化・自然の教育資源や地域人材の支援を活用するとともに、連携した教育活動をすすめます。

組織 イメージ



地域・保護者の方々に「子どもたちの応援団」として参画していただく
コミュニティ・スクールを組織し、
地域とともにある学校の取り組みをすすめます。

庄内さくら学園新校舎配置図

2階

庄内さくら学園

庄内コラボセンター

庄内コラボセンターとは
渡り廊下でつながっています

渡り廊下を通して、大アリーナへ



第1ステージの教室は
1・2階に配置

4年

3年

1階

庄内さくら学園

庄内コラボセンター

グラウンド



2年

1年

4階

庄内さくら学園

庄内コラボセンター

プールは小アリーナの上の
4階に配置

第3ステージの教室を配置



3階

庄内さくら学園

庄内コラボセンター

第2ステージ (5年~7年)
の教室を同じフロアに配置



※学年の教室配置は変更の可能性もあります。

庄内さくら学園の日課表(時程)について

- ◆ 8時30分登校となります。朝学習・朝の会(さくらタイム)の後、1時限目の授業が始まります。第1ステージ(1~4年)の授業は、1コマ(授業)あたり45分、第2・3ステージ(5~9年)の授業は、1コマ(授業)あたり50分となります。(下記の表は、通常時程の場合)
- ◆ 異学年交流や児童生徒会活動が設定できるように、中休みやそうじ時間を合わせるように時程を組んでいます。
- ◆ 放課後に児童生徒会活動や研修・会議等がある場合、短縮授業となることがあります。

通常(月火木金A時程)			通常(水曜A時程)			
	1~4年生	5~9年生		1~4年生	5~6生	7~9年生
08:00			08:00			08:00
:30	朝学習・朝の会 さくらタイム	朝学習・朝の会	:30	朝学習・朝の会 さくらタイム	朝学習・朝の会	:30
09:00	1限目	1限目	09:00	1限目	1限目	09:00
:30			:30			:30
10:00	2限目	2限目	10:00	2限目	2限目	10:00
:30	中休み	中休み (さくらタイム)	:30	中休み	中休み (さくらタイム)	:30
11:00	3限目	3限目	11:00	3限目	3限目	11:00
:30			:30			:30
12:00	4限目	4限目	12:00	4限目	4限目	12:00
:30	昼食 (45分)	昼食・昼休み (50分)	:30	昼食 (50分)	昼食・昼休み (50分)	:30
13:00	昼休み (20分)		13:00	簡単そうじ		13:00
:30	そうじ	そうじ	:30			:30
14:00	5限目	5限目	14:00	5限目	5限目	14:00
:30			:30	おわりの会	おわりの会	:30
15:00	6限目	6限目	15:00		6限目	15:00
:30	おわりの会	おわりの会	:30		おわりの会	:30
16:00			16:00			16:00

校名・校章・校歌について

校名「庄内さくら学園」について

「地域とともにある学校」として地域への愛着や誇りを表現し、地域をアピールするため「庄内」をつけて「庄内〇〇学園」とすることとし、〇〇に入ることばを公募し選定しました。

庄内・野田・島田小学校の校章が「桜」であり、3小学校区共通のシンボルとしてふさわしいことや、「さくら」という言葉の響きが良く、綺麗な印象で親しみやすいことなどから、「誰からも広く愛される学校になってほしい」という願いを込めて選定しました。

校章について



庄内・野田・島田小、第六・第十中の子どもたちからデザインのアイデア募集等を行い、校章のデザインを決定しました。

5枚の花びらの桜の花は、校名と1つになる5校を表し、上に向かって伸びる葉は、義務教育9年間での子どもたちの成長を表現しています。

校歌について

庄内さくら学園 校歌 作詞・作曲 高木 日向子

- | | | |
|--|---|--|
| 1. 空のまぶしさ 気づく頃
うす紅の花が 若葉になる
時間と共に 移りゆく
その希望 その未来
創ろう 君と一緒に | 2. 風の行き先 気づく頃
枝の青葉に 色がにじむ
それぞれ違うから 美しい
その思い その気持ち
見つけよう 君と一緒に | 3. 雲のやさしさ 気づく頃
枝のつぼみが 花開く
急がなくていい 少しずつ
その道 その夢
拓こう 君と一緒に |
|--|---|--|

※五つの花が 重なって
一つになる
庄内さくら学園

※くり返し

※くり返し

こちらから校歌を聴くことができます ▶



校歌の作詞作曲をしてくださったのは、令和元年(2019年)に開催のジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門で優勝し、同年11月に本市が豊中かがやき大賞を贈呈した高木日向子先生(大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部講師)です。

高木先生が統合される各学校を訪れたなかで感じた「未来を切り拓くことは、一人ひとりにとってはなかなか難しいことでもあるので、そこをしっかりと応援していけるような歌に」、そして「これまで五つの小学校、中学校では、地域の方々の深い思いがあふれているので、地域が一つになっていけるような親しみをもってもらえるような歌に」との思いを込めて制作してくださいました。



1年間の学校生活(予定)

4月	開校式・始業式 地区・家庭訪問 大阪府すくすくテスト(5・6年)	入学式(1年) 全国学力・学習状況調査 (6・9年)	
5月	参観・懇談・PTA 総会 中間テスト(7年～9年)	春の遠足	
6月	沖縄修学旅行(9年) 期末テスト(5年～9年)	広島宿泊行事(7年)	
7月	個人懇談	1学期終業式	
8月	2学期始業式		
9月	大阪府チャレンジテスト(9年)	宿泊行事(4年)	
10月	中間テスト(7年～9年)	体育大会	
11月	オープンスクール 進路懇談(9年)	秋の遠足 期末テスト(5年～9年)	
12月	個人懇談	2学期終業式	
1月	3学期始業式 学年末テスト(9年)	大阪府チャレンジテスト(7・8年)	
2月	私立高校入試 学年末テスト(5年～8年)	公立高校特別入試 参観・懇談・PTA 総会	
3月	公立高校一般入試 修了式	卒業式(9年) ステージ式(4・7年)	

豊中市立庄内さくら学園 | 学 | 校 | 案 | 内 |

庄内さくら学園開校に向けたお知らせを
下記 HP・QR コードからご覧いただけます。

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/g01/index.cfm/6,html>

【発行】令和4年(2022年)8月
豊中市教育委員会事務局 学校教育課
電話：06-6858-2705
E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

QR コードは
こちら

